

「なかがまが主人公」のバトンをしっかりと手渡しして

施設長 石田 ルミ江

令和三年の年末もあとわずか、今年度の初めから仕事の引継ぎをどんな風にしたらいいのか頭を悩ませてきました。その間も月日は矢のように過ぎ、目の前のカレンダーはあと何日と数えられるような段階になりました。

なんといつても毎日は、私の思惑とは関係なく淡々と慌ただしく訪れては去っていきます。後任の高坂さんにも会議にできるだけ出席してもらって、こくわの進行形の姿を見てもらっています。「思えば遠くに来たもんだ」のたとえの通り四十年の歩みになります。長いとも思えるし、ついこの間の事のようにも思える歳月の流れです。

「自分に合った作業所がない」と動物好きな亮子のために鶏を手に入れ、指導員がいない中で一人で卵をケースに入れて持ち帰っていた本当に初めの頃のこくわ共同作業所！「ないものは作ろう！」を合言葉に制度の壁に立ち向かい、理解者を増やし今日まで来ました。

その後「障害者自立支援法」ができて権利がサービスになり、今あるサービスから選ぶ制度となり、いつの間にか商品を選ぶような感覚になつていないか？こくわでさえこんなサービス（商品）です！の様な感覚に陥っていないか、ハタと自分に聞くことがあります。今後は理事長として施設長と共にこくわの原点を確認しつつ任期を全うしていきたいと思えます。長い間ありがとうございます。

事務局より

「寄付」寄付物品

伊沢珠樹様 伊沢優子様 広本直様 横澤直也様
村井新聞店様

ありがとうございます。
大切に使用させていただきます。

冬季物品販売上り報告

冬の物品の注文が終了しました。売上げは二十五万七千七百四十円でした。

今回の人気商品は「梅干し」や「丹波の黒煮豆」、カレンダーでは「はたらく仲間のうたカレンダー」でした。

ご協力ありがとうございました。

未使用カレンダー販売 今年ほ実施!

来年一月十五日（土）に岩見沢イオン（ケンタッキー前）に行う予定です。時間は十時〜十六時です。
未使用カレンダーと未使用の手帳を集めていますので、こちら

もご協力お願いします。

新年会中止のお知らせ

来年二月五日（土）に予定していました新年会は、コロナウイルス感染拡大防止のため中止することになりました。

郵便振込手数料が上がりまし 現金での納入を!

一月十七日より、今まで会費の納入に使っていた赤い振込用紙を利用しても百十円かかるようになります。

こくわの里も二百三元（ATMなら百五十二円）負担するので二千円送るのに三百円もかかる事になります。ぜひ、現金で届けてください。集金にも伺います。

ご協力よろしくお願い致します。

施設長就任のご挨拶

高坂 真裕美

二千二十二年一月一日より、社会福祉法人こくわ福祉会こくわの里施設長に就任する事になりました。

こくわの里では二千九十九年一月から二千十七年三月まで支援員として働いていました。最初はリサイクル班で廃品回収や油回収、パイオ製造（リサイクル燃料）を担当し、生活介護をはじめてからは、スマイル班担当となりクツキーやかすてら作り、創作活動に力を入れていました。

その後はたいよう班を担当となり、パイオ室を工房に変えて廃品回収や畑作業、おしぼり作業、たまねぎ染め、廃油石鹸作りなど、八年間なかまと一緒にお仕事してました。笑ったり、泣いたり、怒ったり、ちよつとした会話に感動したり、なかまと関わる事がとても楽しく、充実した毎日を過ごしていました。

これからも「なかがまが主人公」一人一人と向き合い信頼し合える関係を築いていきたいと思っています。石田施設長をはじめ、職員の皆様、ご家族の皆様、友の会会員の皆様、地域の皆様、そしてなかま達の力を借りて微力ではございますが、みんなで積み重ねてきた歴史を大切に守りながら、なかまの成長とこくわの里の発展に向けて日々努力していきたいと思えます。よろしくお願い致します。

編集後記

二百号ついに発行することができました！記念すべき時に、こくわ通信に関わる事ができ嬉しいです。今後とも皆さんに思いが伝わるような通信作りをしていきたいと思えますので、よろしくお願い致します。
（編集委員長 山根 彩美）

私事ですが家で飼っているペットが（ウサギ）赤ちゃんを産みました。来月には走り回っている事でしょう。飼い主になりたい方はご連絡ください。
（編集委員 但木 美和子）

ついに雪が降り始めましたね。昨年のように除雪に追われるのではないかと不安で、毎朝カーテンを開けるのにドキドキしてしまいます。これから寒さも本格的になってきます。皆さん体調には気をつけてお過ごしください。
（編集委員 成田 麻子）

最後の編集後記が二百号記念とはなんともめでたい事です。友の会がまだできていない頃の第一号から途切れることなく二百号とはよくやりました。これからも好奇心に満ちた良い編集を期待します。
（編集委員 石田 ルミ江）